

京 浜 神 社 に つ い て

平成11年4月

神社の変遷

- 昭和初期? 州崎神社の分神として造函皇大神宮として造営
京浜神社はドライドック製作中以降存在するものと思われる。
昭和9年当時のケーソン製作写真に鎮守の森が撮影されている。
- 昭和39年 神社新築（直営製作）
施工者 福島照美、松木武雄、石井龜幸
工場長 清水政一
- 昭和41年 神社名変更（4月15日）
京浜神社
- 昭和47年 構内整備（水理実験場）に伴い造函工場庁舎内に移設
- 昭和50年 正門横に移設
- 昭和57年 横浜市との土地交換に伴い造函工場庁舎内に移設（10月26日）
工事課庁舎裏（現在地）に移設（12月11日）
- 平成2年 猫石（?）
ヤード改造に伴う潜水探査でドックゲート付近から20cm位の石を揚収した。現在は京浜神社に鎮座している。
石には文字が刻まれているが判読できない。
- 平成7年 鳥居新替え（8月7日竣工式典）

主な行事

- 1) 戦後、毎年12月8日には造函工場職員全員で朝礼時に参拝した。
- 2) 毎年4月14日に宵宮（前夜祭）が盛大に行われた。
- 3) 毎年4月15日に神社祭が事務所行事として行われた。
（事務所有志及び造函工場同志会メンバーなどの寄付）
（参列者による直会および職員全員に紅白饅頭を配布）

平成11年現在

- ・毎月上旬に第二工事課で御神酒など供えて参拝している。
- ・本体工事受注者及び第二工事課職員で工事着工前に参拝している。

八神宮

逆國工場同志會

太神宮

逆國工場同志會

